



東京八王子プロバスクラブ
創立 1995 年 10 月 18 日
2021～2022 年度 テーマ

プロバスだより

第317号

2022 年 4 月 14 日発行

編集・発行：情報委員会

プロバスライフを「元気にたのしもう」

第 317 回例会

日 時 令和 4 年 3 月 10 日 (木)
場 所 八王子エルシィ
出席者 出席者 30 名 出席率 62.5%
(会員総数 50 名、欠席 18 名、休会 2 名)

1. 会長挨拶

河合会長

皆さんこんにちは。3 月例会の開催です。ご出席ありがとうございます。例年なら三月を迎え、寒さから解放されて、活発な活動が開始される好季節であります。



しかし、残念なことに、まだまだコロナの状況が思わしくありません。本日もまん延防止重点措置の規制がかかった条件下ではありますが、当クラブにとって大きな事業であります、今月 20 日の音楽祭や 11 月に予定されています全国大会など、各種の事業も差し迫っておりますので、昼食会もなく、懇談もままならない広い部屋での開催となりました。

そうした意味で、本日の例会も駆け足の落ち着かない進行になるかと思いますが、よろしくご協力を頂きたいと思っております。

季節の変わり目で、まだまだ寒さの日もあります。コロナも油断できません。どうぞ健康には十二分に留意されてお過ごしいただきたいと思っております。簡単ではありますが、開会の挨拶とします。

2. ハッピーコイン披露

池田副会長よりハッピーコイン 17 件の披露がありました。(3 ページに掲載)

3. バースデーカード贈呈

3 月生まれの会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られました。



写真左から杉田会員、田中会員、阿部会員、根本会員と会長

4. 3 月のラッキーチャンス

今月のラッキーチャンスの当選者は馬場会員、岩島会員、寺山会員でした。

5. 幹事報告

山口幹事

幹事報告は次の通りです。

1. 例会の開催について

本日の例会ですが「蔓延防止等重点措置」の延長や感染者の高止まり等によりその開催について、理事会において様々な議論を行ったところですが以下により開催することとしました。

- (1) 食事はしない。
- (2) 開催時間はコンパクトとし 1 時間、13 時～14 時とする。
- (3) 出席者については自由参加、出席可能な会員とする。
- (4) 広い部屋を確保、学校スタイルとし距離を十分に取った座席配置とする。

来月以降も心おきなく例会が開催されることを強



く願っています。

2. 全日本プロバス協議会会長就任について

全日本プロバス協議会会長の就任についてですが、2月の例会の中止に伴いその経緯・対応について資料を配布させて頂きました。お読み頂きご理解頂いたものと存じますが改めて報告します。

(1) 昨年10月全日本プロバス協議会の古賀会長と松本幹事長が本年11月に開催する八王子総会に係る会場視察ほか打ち合わせのため来訪された際、古賀会長より是非とも次期全日本プロバス協議会会長を八王子プロバスクラブで担当して欲しいとの申し出がありました。

因みに会長職は2年交代で東日本・西日本の地域が交代で担当することになっており、現在は西日本地区の北九州プロバスクラブが担っています。従って次期会長は本年11月24日、八王子にて開催予定の「全日本プロバス協議会全国総会」において東日本地域から選出される予定となっています。

(2) この要請を受けてクラブの創設メンバーや直近の歴代の会長、幹事等と数次に亘り意見交換を重ねた結果、「可能なら受けるべし」との意見が多く示されました。

この結果を以て1月6日開催の理事会において会長職就任要請の諾否について議題として取り上げました。その結果、クラブとして会長受諾を前提に全日本プロバス協議会の会長と幹事長の候補者を確定するべきとの意見に集約されました。

(3) 1月13日例会終了後「臨時理事会」を開催し、田中信昭会長候補（現全日本プロバス協議会副会長）と幹事長候補である一瀬理事同席のもと協議を行いました。

その結果、会員数の減少や会員の高齢化による活力の低下といった現況にあるものの、クラブ挙げての協力体制を前提とすることで一致しました。

(4) これらの経過を踏まえて2月3日に開催された理事会において改めて「受諾」の最終決定を行いました。また、未定であった会計について会長、幹事長候補から飯田会員を推薦したいとの申し出があり併せて承認されました。

(5) これまでの複数回に亘る議論等を踏まえ、理事会としては、現に北九州クラブが果たして来た今日までの役割、経緯を考えれば、同じプロバス仲

間として、この際、長寿社会で果たすプロバスの役割と全日本協議会の意義を共有して要請を受諾するのが筋ではないかと最終判断した次第です。

なお本件につきまして全日本プロバス協議会の発足過程やわがクラブの現状等について詳しい杉山会員より、補足説明を願った上で力強いアピールを頂きました。

(6) 終わりに、会長受諾の意思決定が遅れましたのは、コロナ禍の中で例会が常時開催出来る状況に無かったことも遅延した理由の一つに上げられることを申し添えておきます。

6. 報告事項

1) 交流担当及び「東京八王子2022」関係

一瀬 明

「東京八王子 2022」に関しては本日実行委員会を開催予定で詳細を詰めることとなります。

(1) 予算の大枠、(2) 後援団体確定、(3) 今月以降の大工程の3点について報告いたします。まず予算ですが大物の案件の見積りが出そろいました。事業規模は250万円で、収入見込みが会費などで200万円、ギャップが50万円ほどあります。この差を知恵を絞って埋めていくことが必要です。お酒類は持ち込みに、八王子観光コンベンション協会への事業申請、ニコニコボックス（仮称）で参加者から募金徴収などを検討し、足らざるところはクラブの活動準備資金からの支出をお願いしたいと考えます。後援団体は八王子市、八王子市教育委員会、八王子南ロータリークラブ、八王子観光コンベンション協会の4団体です。

最後にこれからの主な工程ですが3~4月に全国のクラブに開催案内第1報（往復はがきで参加者概数把握）発送、コホスト会議、7月に正式な開催案内状と交流会のアンケート発送、9月に全日本理事会で報告説明、10月に参加者最終把握、総会委任状と進むこととなります。ぬかりなき様進めてまいります。会員の皆様の絶大なるご支援をお願いいたします。

2) 「小中学校音楽祭」報告 杉山PJリーダー

コロナ禍により、開催が二転三転しましたが、出場校及び八王子市教育委員会とも調整の上、3月20日いちようホールで開催することになりました。是非とも皆様方の参加をお願いします。

3) シニアダンディーズ録音報告 下山会員

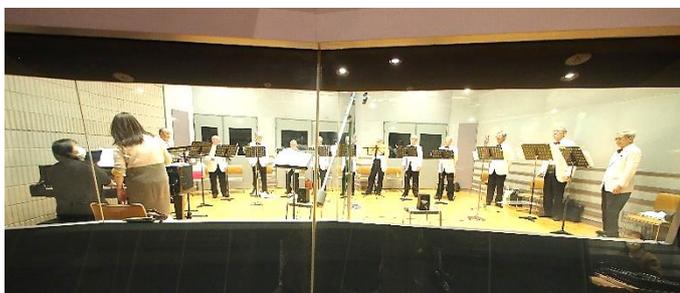
シニアダンディーズがCD録音しましたので、広く聞いていただきたいと思います。

旧16号道路に沿って、緑の丘に近代的高層建築が広く美しい庭園と共に聳えるのが東京工科大学および日本工学院八王子のキャンパスです。入口に近い片柳研究棟は先年まで八王子「宇宙の学校」の会場として使わせて頂いた事もある所です。工学院は広い分野で実践に直ちに役立つ卒業生を送り出しています。

クリエイター、デザイン、ミュージック、IT、医療、テクノロジーの6カレッジがあり、それぞれ充実した専門学校です。例えばミュージックカレッジではアーティスト科、イベント科音楽芸術科、ダンス・パフォーマンス科など多彩なコースがあります。

今回3月8日、9日に録音したのはミュージックカレッジの音楽芸術科のAスタジオでした。このスタジオは日本第1級の設備・広さを持つものです。学生の研修はもちろん様々な利用がなされています。科長の山口卓司先生、三好敏行先生のご指導で録音が行なわれました。録音はプロの耳で厳しくチェックして行われました。私がカメラ音を立てて響感を買いました。学生なら怒鳴られるでは済まないでしょうね。シニアダンディーズは今回の録音のための猛練習をしました。すばらしい録音ができたと思います。

なお借用や諸準備は全てシニアダンディーズ団長の立川さんの広い交友関係と努力があって可能になったもので、改めて御礼を申し上げます。



7. プロバス賛歌

起立・黙唱



8. 閉会挨拶 池田副会長

今年度も例会のお休みが続きましたが、理事会は毎月実施しています。全日本関係など重要な議題も多く、理事一同は時間をかけて検討した上で結論を出しています。ご理解と協力をお願いします。

4月の例会では、みなさんと楽しく食事ができますように。ご参会ありがとうございました。



◆もうすぐ桜花爛漫の候、コロナ禍、ロシア軍侵攻早く治まってほしい！
有泉 裕子

◆池田さんの素敵なお手紙の誕生カード今年11回目をいただくことになり感謝です。プロバスクラブのため微力ながら頑張っています。
根本 照代

◆シニアダンディーズの合唱の厳しい練習を毎週月曜日に重ね、CD作成の録音を3月8日と9日の両日に終了いたしました。立川団長の下、一丸となった成果です。まずは、録音を無事終えてHappy!!
持田 律三

◆3月5日趣味の吹奏楽、由井吹奏楽団第34回定期演奏会が、この時節にも拘わらず多数のご来場を戴きました。来年3月18日頑張ります。
武田洋一郎

◆ワクチン3回目完了しました。今日、池田さんの誕生日カード楽しみに来ました。
杉田 信夫

◆3月20日小・中学校音楽活動優秀校音楽祭がいちようホールで開催されます。2年越しで実現されます。会員の皆様方のご参加を期待しております。
飯田富美子

◆三寒四温とはまさに今の頃ですね。ハッピーな事？身内で九十七歳、九十八歳と百歳を目前に他界した方がいますが、長寿のお祝いでしょうか。会員皆様には百歳青春を全うして頂きたいと願っています。
飯田富美子

◆猛練習を重ねたシニアダンディーズのCD録音が何とか終わりました。記念になります。メンバーの皆様、指導者の皆様、お世話を戴いた皆様、サポーターの皆様有難うございました。
田中 信昭

◆例会が無い月には、顔を合わせ話をする事の大切さを痛感します。3月以降、例会が続くことを祈っています。
馬場 征彦

◆シニアダンディーズのCD作成のための録音がやっと2年越しに実現した。立川団長の統率力、そして応援団の皆さんの温かいご支援に深く感謝致します。

岩島 寛

◆理事会での議論の結果、例会を開催することが出来ました。随分広いスペースをとっています。どうぞご安心ください。

山口 三郎

◆お節句も過ぎ、いよいよ春本番。プロバス活動も健康第一で精一杯楽しみましょう。

河合 和郎

◆シニアダンディーズのコーラスの録音が昨日と一昨日にわたり行なわれました。CDが出来上がるのが待ち遠しいところです。

土井 俊玄

◆久しぶりの例会、皆さんと顔を合わせられる喜びはなによりと思います。

土井 俊玄

◆コロナ事情の中ではありますが例会開催ありがとうございます。用心しながら何とか活動を続けたいものです。

杉山 友一

◆「東京八王子2020」全国の各プロバスクラブへ第1回目の案内を出す時期になってきました。「いよいよだな」と気を引き締めて臨みたいと思います。

一瀬 明

◆上の孫がオーストラリアの大学へようやく出発。コロナで1年近く足止めをくらっていましたが、自分の道を選択できたことにハッピーです。

一瀬 明

◆八十五歳になりました。プロバスに入会して、会員の「自分」を生きる方々とお目にかかり、また、知識を知り感謝しています。コロナが終わりまた一服の茶が飲めたらと思っています。

阿部 治子

◆早くウクライナに平和を !!

野口 浩平

小・中学校音楽活動優秀校音楽祭

東京八王子プロバスクラブ創立25周年記念事業として企画しました「小・中学校音楽活動優秀校にエールを送る会」は一昨年、八王子学園都市センターイベントホールでご来賓者、ご招待者をお招きし開催しました。が、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、対象校の皆さん方の出演は見送らざるを得ない状況でした。

それが、ようやく3月20日に八王子いちようホールで開催することが出来ました。

出場校のうち、八王子市立清水小学校はコロナウイ

ルスの感染に伴い、残念ながら欠場となりました。従いまして、出演は

八王子市立上上柚木小学校合唱部

八王子市立松が谷中学校吹奏楽部

東京八王子プロバスクラブシニアダンディーズ

八王子学園八王子高等学校吹奏楽部

となりました。

司会は、八王子学園八王子高等学校の3年生高野花鈴さんにより幕を開けました。

杉山創立25周年記念事業委員会委員長より、開催が遅れた経緯と開催にこぎつけたことを話され、今日は、生徒さんたちの熱心な演奏をお楽しみくださいとの挨拶がありました。

各校の演奏会

初めは、八王子市立上柚木小学校の生徒さんたちによる「おおブレネリ」「エーデルワイス」など5曲の素晴らしいハーモニーを聴かせていただきました。曲間に生徒さんによる「演奏会用のネクタイ」を頂いたことに感謝の言葉もいただきました。



写真は上柚木小学校の皆さん

2番目に登場したのは、吹奏楽部門の代表として、八王子市立松が谷中学校の生徒さんたちです。

「RPG」「虹」「銀河鉄道999」の3曲を迫力のある音色で披露してくださいました。記念に贈呈した打楽器の入った演奏曲まで含まれていました。



写真は松が谷中学校の皆さん

3番目に登場したのは、八王子プロバスクラの
高齢者で構成する「シニアダンディーズ」です。

「いのちの歌」「大地讃歌」「故郷」の3曲を披露
しました。



写真はシニアダンディーズの皆さん

締めくくりは、八王子学園八王子高等学校吹奏楽部
による演奏です。

大音量の素晴らしい音色を響かせてくれました。会場
の聴衆もその迫りに堪能されたことでしょう。

「ゴッドスピード!」「“歌劇トゥーランドット”
より」「八学 Beeet !!」「アニバーサリー・メドレ
ー・アニメ編」「アナザー・デイ・オブ・サン」の5
曲が披露されました。



写真は八王子学園八王子高等学校の皆さん

創立 25 周年記念事業の結了報告 杉山 友一

クラブ創立 25 周年記念事業の実施計画が、令和 4
年 3 月 20 日（日）を以って漸く結了しました。コロ
ナ禍を考慮して、まずは第一次の事業として一昨年
10 月 3 日、創立 25 周年記念「小・中学校音楽活動優
秀校にエールを送る会」（於：八王子学園都市センタ
ー）を開催し、対象の小・中学校に「次代を育てる は
ばたけ未来!!」を旗印に活動奨励品を贈りました。そ

の後、第二次として完結を目指した事業が、いちよう
ホール大ホールを会場とした「小・中学校音楽活動優
秀校音楽祭」でありました。コロナ禍はその後、第 5
波、第 6 波と続き当該第 2 次計画の実施日も皮肉なこ
とに「まん延防止等重点措置」指定期間の最終日に該
当するという奇遇でした。そんな中で、当日は出演予
定の小・中学校 3 校の内、清水小学校ブラスバンド部
がコロナ罹患による学級閉鎖が発生し出演不可とな
るハプニングはありましたが、八王子織物工業組合か
ら贈られた舞台ネクタイを締めて登場した上柚木小
学校合唱部の演奏は、生徒たちのすがすがしい、天使
の声のハーモニーが会場を感動、魅了させました。



又続く松ヶ谷中学校吹奏楽部の演奏は、未来に向か
って羽ばたこうとする少年たちのすがすがしい笑顔
が管楽器の音色に乗って伝わってきました。思わず、
貧しかった日本の昭和、戦中戦後時代に少年期を送
ったわが身を振り返り、今の子供たちの物心の豊か
さに大きな時の流れを感じた次第です。昨今の悲惨
なウクライナ事変を見るにつけ、未来を託す子供た
ちに向かって、大人たちの責任の重さを意識しない
わけにはいきません。



さて、当日は、当クラブからシニアダンディーズも
出演して子供たちにエールを送りました。（評価は不
明です）。

そして、最後のエールは、音楽を嗜む小・中学生のあこがれの的、八王子学園八王子高等学校吹奏楽部のお兄さんたちの一大ステージでした。当日は清水小学校ブラスバンド部の欠場のこともあり、高校生たちには1時間の出演をお願いしたのですが、121名の編成から繰り出す、時に軽快、時に重厚、オリジナリティ溢れる圧倒的なその演奏はまさしく会場を圧倒していました。



コロナ禍は人々の接触を妨げ、日常を破壊し続けてきましたが、改めて今日のこの日の音楽祭の意味を噛みしめながら、やってよかったという思いがこみ上げてきました。思い返せば、本件は前々期（飯田会長年度）の7月には準備委員会が発足していますから、実に3年越しの懸案となりました。本日の事業の終了まで、田中会長年度、河合会長年度に亘る長い間、準備の段取りの進行は一瀬事務局長、立川ステージマネージャーを中心に進めて頂きましたが、思えば会員の皆さんをはじめ大変多くの方々のお世話になり、ご好意に甘えてきました。実行委員長の立場から改めて関係各位に深く感謝申し上げる次第です。

プロバスクラブは長い人生峠をしっかりと乗り越えてきた、謂えば人生の有段者たちの集まり、と意識しています。プロバス賛歌にも「平和かかげてこの国に 笑顔と緑育んだ 豊かな知識と経験を さあ 若者たちに今伝えよう」と謳われています。八王子「宇宙の学校」PJ もそうですが、未来を託す子どもたちに向けての文化事業はプロバスクラブに良く似合う、そんな思いに駆られた一日でありました。但し、忘れていけないことは、この事業が初めての試みであることから、事後の検証をしっかりと行い、見えてきた課題を整理しておくことも又大事なことと考えているところです。

俳句同好会便り

私の一句〈三月の句会から〉

河合 和郎

3月も紙上句会。まだまだ安心して集まれる状況にない。マスクなしで心置きなく座談ができる日常はいつ戻ってくるのだろうか。

遠き日は遠き日のまま紙ひいな 池田ときえ

雛祭りには幼い時代からの思い出が刻まれている。その日その時の遠い思い出の数々が。

行きずりの僧にも笑顔初櫻 田中 信昭

初桜に思わず笑みがこぼれるお坊さんの姿が楽しい。その光景を一句の作品にした作者もにっこり。

老姉妹雛を片手に長談義 下山 邦夫

思い出話に花を咲かせる老姉妹。里の事々、母や父の事々。走馬灯のように思い出は巡る。

紫雲英田の花冠の子らの声 飯田富美子

春になると紫雲英田は子供の遊び場だった。れんげの花で作る花冠は子供の宝物でもあった。

医者帰り春気を求め回り道 馬場 征彦

診察を終わって医師の一言。「具合はいいですね」。帰り道は心弾む春景色の回り道であった。

柵を挿したる門や田舎道 野口 浩平

「柵の枝に鯛の焼いた頭を挿す」。それを門や入口に挿す。古くからの魔除けの習慣があった。

梅一輪朝日誘ひて咲にけり 東山 榮

梅の花が咲いて朝日を誘うという発想が新鮮で巧み。俳句脳は歳を取らないとも言われる。

田起しや紫雲英の花は真っ盛り 矢島 一雄

田圃に紫雲英の花は春を代表する農村風景だった。その紫雲英も花の盛りに鋤き込まれた。

春田打つ遠き白嶺のまぶしかり 河合 和郎

春の農作業は田圃を鋤くことから始まった。今は耕運機が主役。しかし俳句には手作業が似合う。

編集後記

「小・中学校音楽活動優秀校」の音楽祭が開催されましたので、久し振りに六頁だての構成となりました。
内山雅之

